

橋梁標識の構成等

1 橋梁標識とは、橋梁の保護及び橋梁下を航行する船舶の安全確保を図る目的で橋げた及び橋脚等に設置される航路標識であつて、橋梁標又は橋梁灯をいう。

(1) 橋梁標 主として昼間の指標として使用されるもので、左側端標、右側端標又は中央標で構成される標識をいう。

イ 左側端標 橋梁下の可航水域又は航路の左側（水源に向かつて左側をいう。以下同じ。）の端を示すための標識板等をいう。

ロ 右側端標 橋梁下の可航水域又は航路の右側（水源に向かつて右側をいう。以下同じ。）の端を示すための標識板等をいう。

ハ 中央標 周囲に可航水域があること又は航路の中央であることを示すための標識板等をいう。

(2) 橋梁灯 主として夜間の指標として使用されるもので、左側端灯、右側端灯、中央灯又は橋脚灯で構成される標識をいう。

イ 左側端灯 橋梁下の可航水域又は航路の左側の端を示すための灯火をいう。

ロ 右側端標 橋梁下の可航水域又は航路の右側の端を示すための灯火をいう。

ハ 中央灯 周囲に可航水域があること又は航路の中央であることを示すための灯火をいう。

ニ 橋脚灯 橋脚の存在を示すための灯火をいう。

2 橋梁標識の一部省略

橋梁下の船舶航行の態様等により橋梁標識の一部を省略することができる。

(1) 橋梁下を航行する船舶の安全上支障がないと認められる場合に限り中央標識又は側端標識の設置を省略することができる。（設置例1、2、3、4参照）

(2) 側端灯が橋脚に設置される場合又は橋脚の照明により橋脚が明示される場合は、橋脚灯を省略することができる。

また、橋梁下を航行する船舶の安全上支障がないと認められる場合は、橋脚灯の全部又は一部の設置を省略することができる。（設置例5、6、7参照）

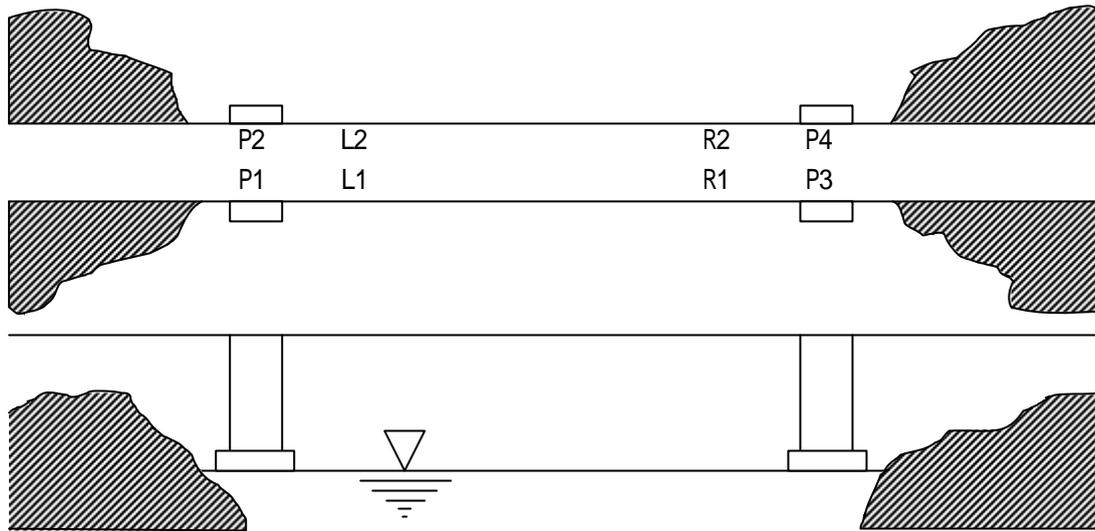
(3) 橋梁下の通航方法が一方通航の場合は、出口側の橋梁標識の一部の設置を省略することができる。（設置例8、9参照）

3 橋梁構造物との識別

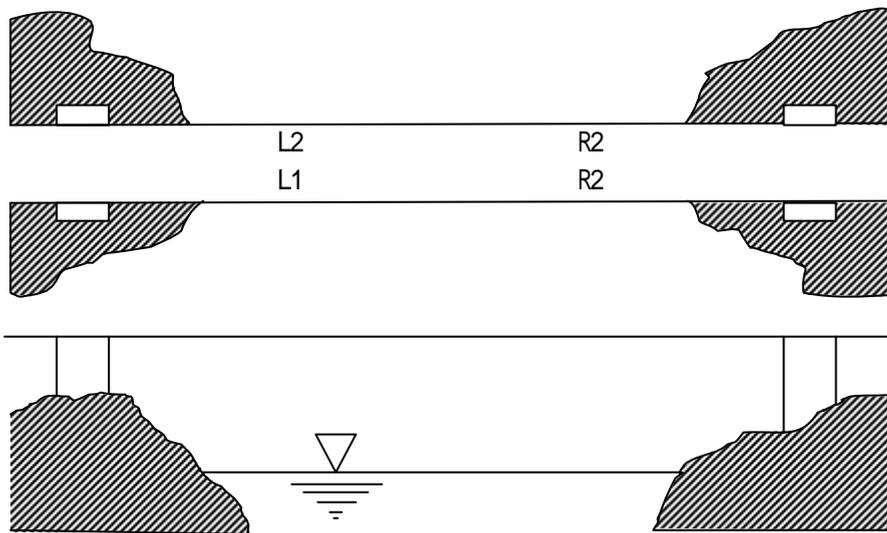
橋梁構造物と橋梁標が明確に識別できない場合には、識別できるよう橋梁標にふちどり又は四角形の背景を施すこと。

なお、ふちどり又は四角形の背景の大きさは、橋梁標の外縁から20センチメートル以上とすること。（別図参照）

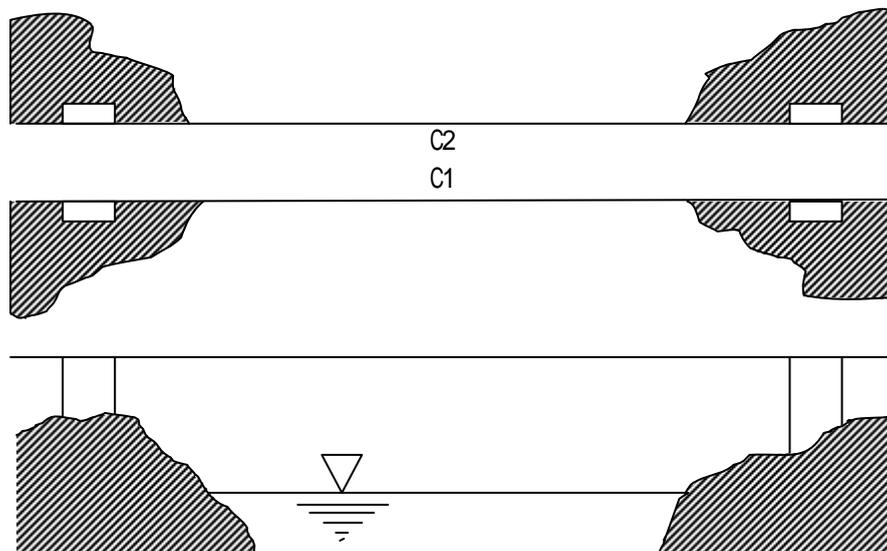
例1 中央標識を設置しない例



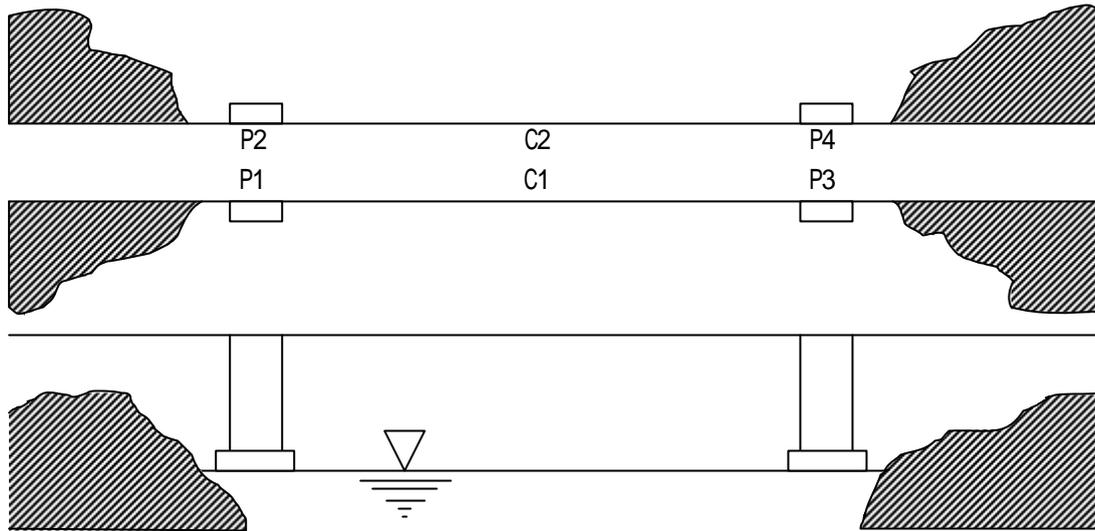
例2 中央標識を設置しない例



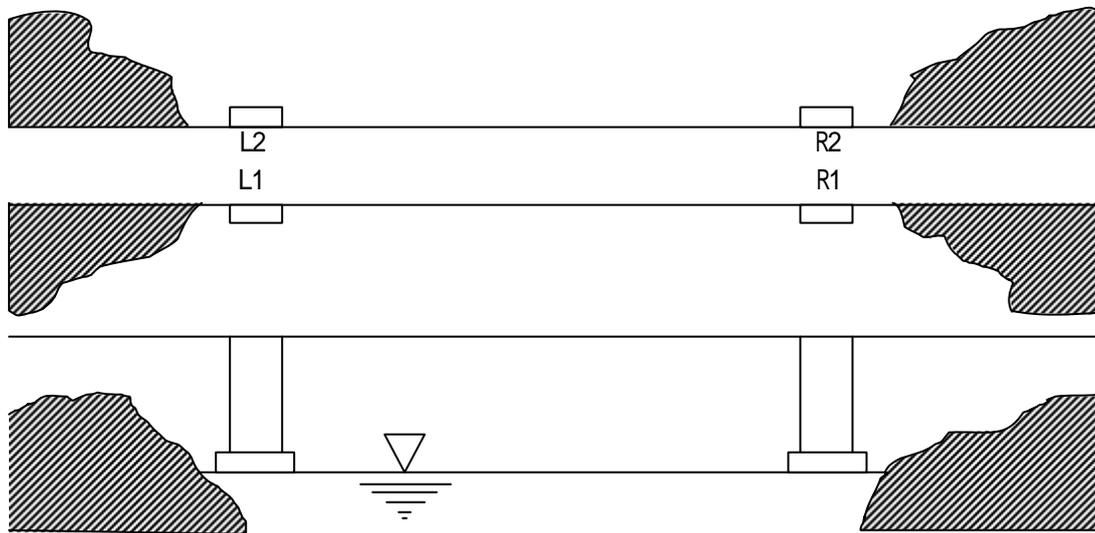
例3 側端標識を設置しない例



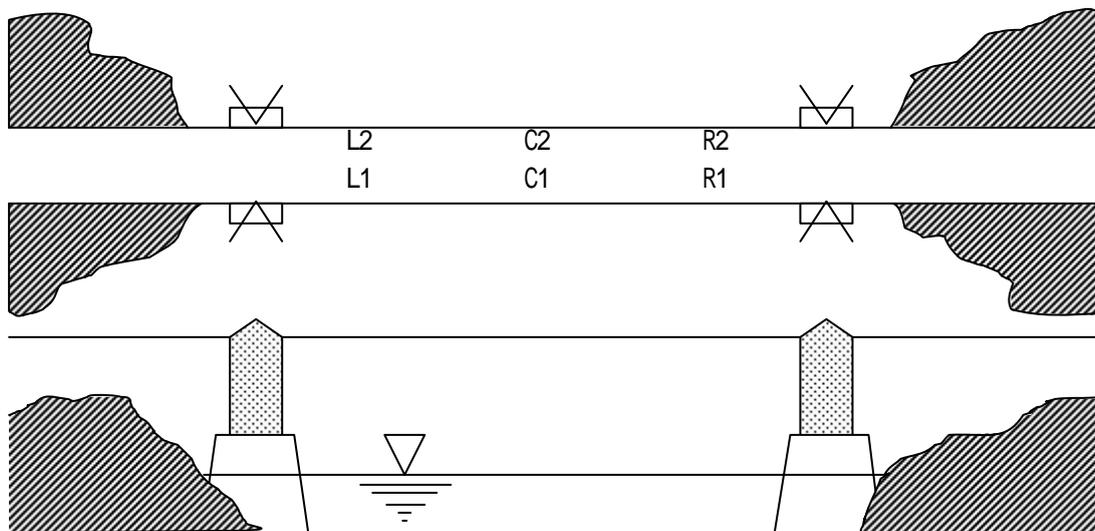
例4 側端標識を設置しない例



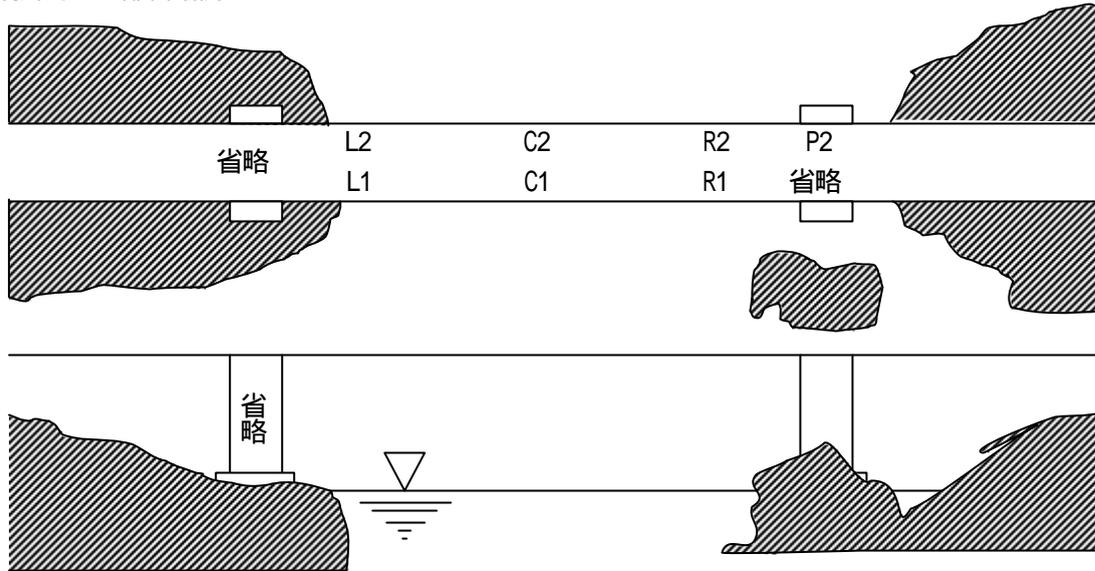
例5 中央標識、橋脚灯を設置しない例



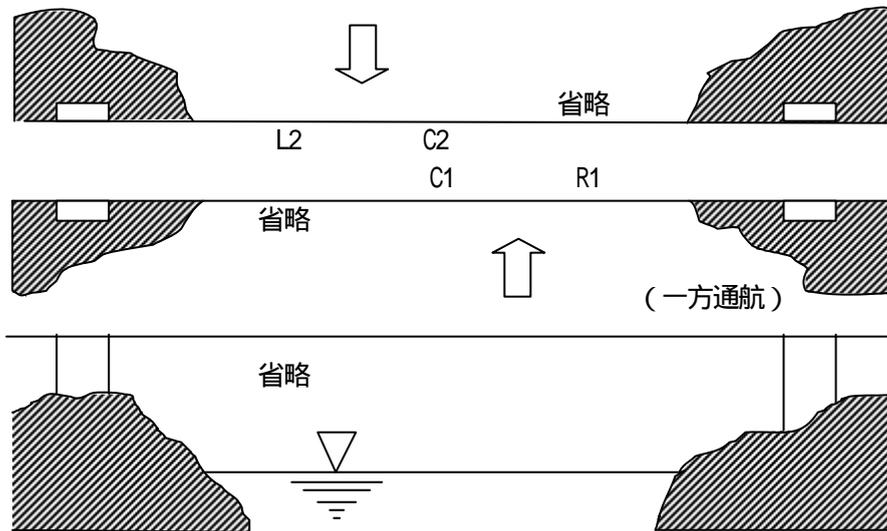
例6 橋脚灯を設置しない例（橋脚の照明）



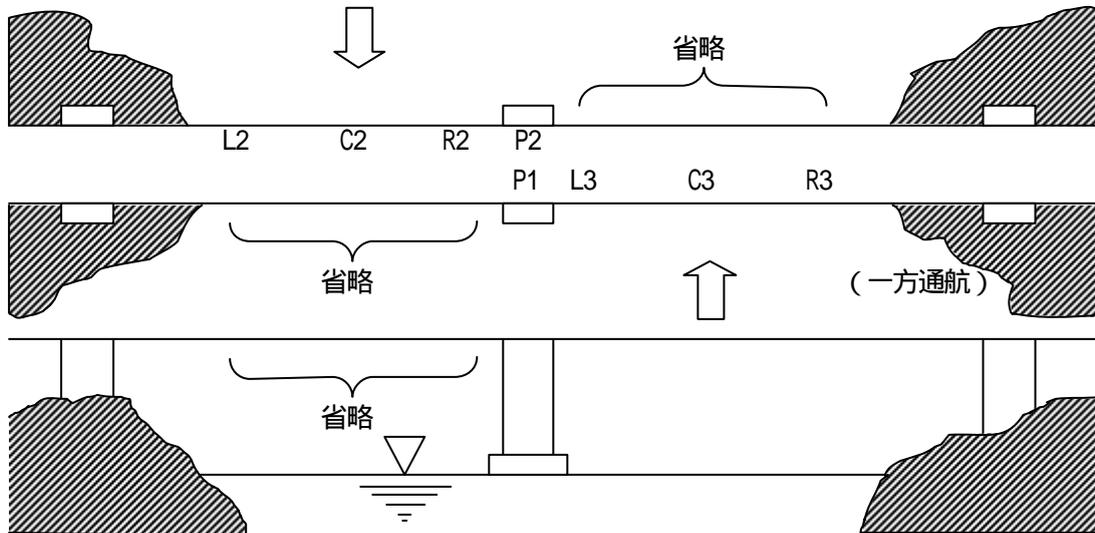
例7 橋脚灯の一部省略例



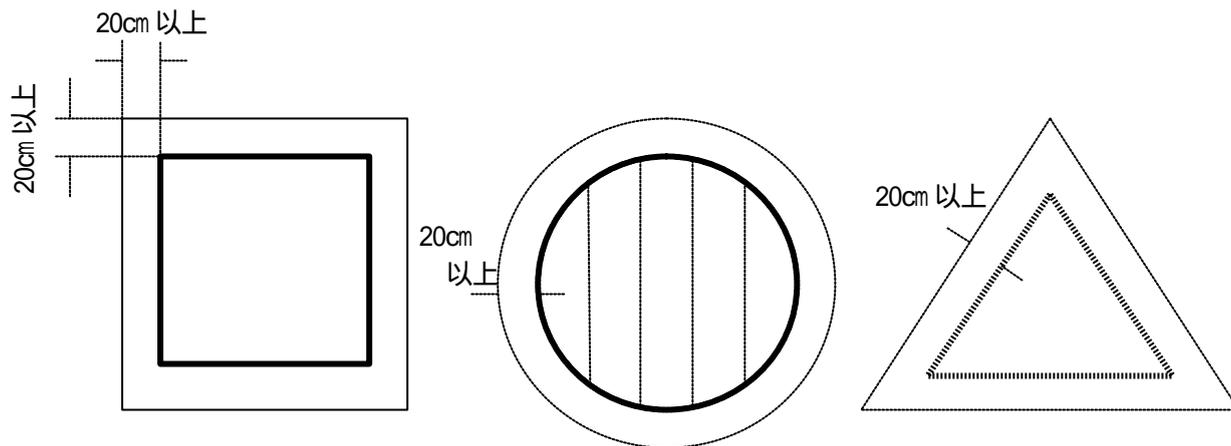
例8 側端標識の一部省略例



例9 中央標識、側端標識の省略例



(1) ふちどり



(2) 四角形背景

